

**温浴施設を核とした複合施設への民間活力導入に関する
公募型サウンディング調査に係る
事業概要書**

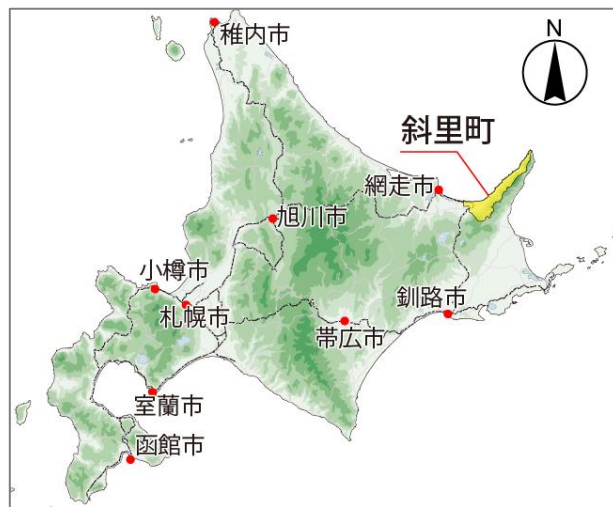
令和 8 年 7 月
斜里町

■ 斜里町の概要

■ 位置・人口

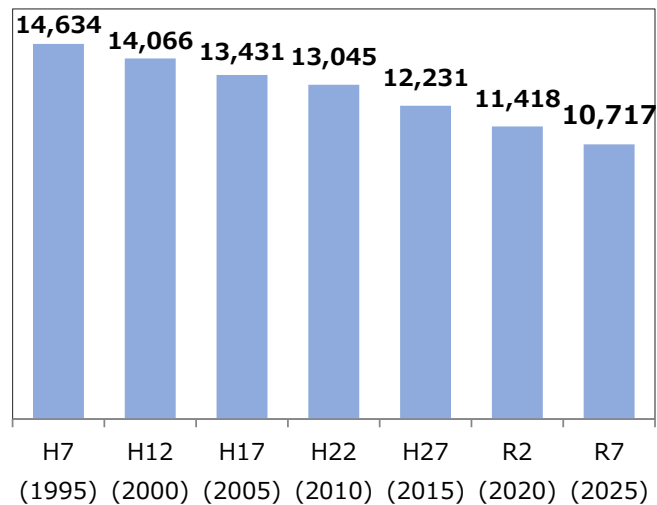
- 斜里町は北海道東部、オホーツク海に面した、農業、漁業、観光業を基幹産業とする町です。
- 世界遺産・知床の自然環境などを多くの観光資源を有しています。
- 人口は減少傾向にあり、令和7年には10,717人となっています。

■ 斜里町の位置



■ 斜里町の人口推移

(単位：人)



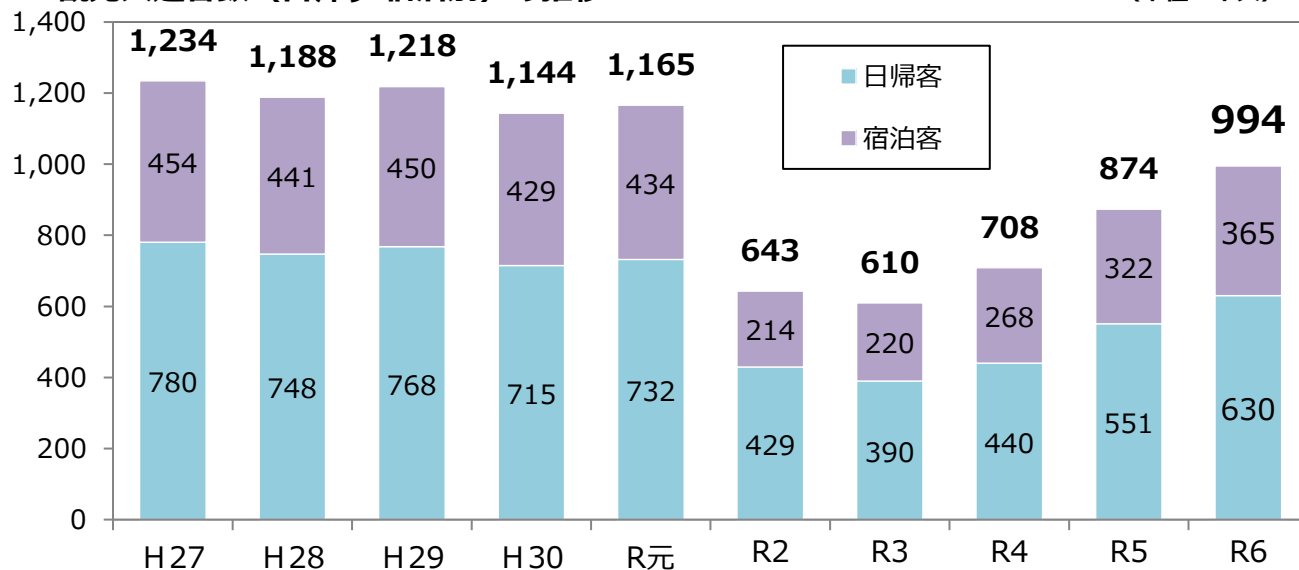
出典：各年国勢調査

■ 観光入込客数の動向

- 斜里町の観光入込客数は令和2年度以降のコロナ禍等の影響による落ち込みから回復傾向にあり、令和6年度には99.4万人とコロナ禍前に近い水準となっています。
- 観光客に占める日帰客の割合は、2/3程度を占めている状況にあります。

■ 観光入込客数（日帰り・宿泊別）の推移

(単位：千人)



出典：北海道観光入込客数調査報告書

- ・斜里町は市街地周辺の平野部から世界自然遺産エリアやウトロ温泉街を有する知床半島まで広範囲にまたがる町で、夏季の知床観光のほか、冬季はオホーツク海に流氷が接岸するなど、四季を通じた観光資源に恵まれています。
- ・本調査で温浴施設整備を検討する斜里町市街地は、女満別空港から車で約60分の場所に位置し、2本の国道が交わる地点であり、知床を目的地とする多くの観光客の立ち寄りが想定されるエリアです。
- ・周辺の主な日帰り温浴施設の立地状況をみると、清里町や小清水町、大空町に立地が見られます。

＜斜里町市街地への車での所要時間＞
 女満別空港から 約60分
 ウトロ温泉街から 約40分
 網走市から 約40分

網走市
 JR釧網本線
 斜里町市街地
 斜里町
 道の駅 バスランドさつる
 清水町
 小清水町
 大空町
 女満別空港
 女満別農業構造改善センター
 ひまわり温泉
 ふれあいセンター
 フロックス
 雪霰SEKKA SHIRETOKO
 越川温泉
 ウトロ温泉街
 世界自然遺産 エリア
 連吉別荘
 海別島
 珊辺新島
 網走湾
 網走湖
 清水湖
 至 北見方面
 至 釧路方面
 至 根室方面
 0 5 10 20 km
 (C) NTTインフラネット

■周辺の温浴施設の立地状況

- ・斜里町市街地には、温浴施設が4施設立地しており、このうち「グリーン温泉」「ペンションしれとくらぶ」「斜里温泉湯元館」は日帰り入浴を実施しています（令和8年6月末時点）。



■ 周辺の温浴施設の立地状況

- ・ 斜里町市街地から車で40分程度の距離に位置するウトロ温泉街には、温浴施設が多く立地しており、うち7施設で日帰り入浴を実施しています（令和8年6月末時点）。



■ 調査の背景・目的

■ 調査の背景

- ・ 斜里町（以下「本町」という。）では、市街地における健康増進、交流、防災等の機能の充実を図るため、温浴施設を核とした複合施設の整備に向けた検討を令和6年度から進めています。
- ・ これまで、温浴施設のニーズやコンセプトの検討のため、町民アンケート調査※1、町民ワークショップ及び町内事業者との意見交換会を実施し、次ページに示す施設の基本的な考え方を整理してきました。
- ・ また、持続可能な施設運営の実現にむけては、他の市町村による温浴施設整備の事例調査等を踏まえ、補助金の活用なども想定しながら、PPP/PFI等の官民連携を進めるための導入手法を検討しています。
- ・ そのため、官民連携手法の導入可能性を検討するにあたり、国土交通省の「先導的官民連携支援事業」へ応募※2し、今年度の支援対象として選定されています。

▼町民ワークショップ（R7年度開催）



※1 町民アンケート調査結果は、下記URLよりご確認ください。

<https://www.town.shari.hokkaido.jp/soshikikarasagasu/seisakusuisin/bathingfacilitysurveyreport/3480.html>

※2 「先導的官民連携支援事業」への応募書類は、下記URLよりご確認ください。

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanminrenkei/content/002001218.pdf>

■ 調査の概要・目的

本調査では以下の目的のため、右に示す内容の把握を行います。

- ① 温浴施設を含む複合施設整備について、幅広い事業者の方から忌憚のないご意見を聴取し、事業計画の精度向上を図ります。
- ② 本事業の実現に向けた官民連携の可能性について、今後の詳細検討を見据え、本事業への関心を示して頂ける事業者の方を把握します。

▼本調査で把握したい項目

- ① 候補地の評価について
- ② 本事業で想定されるターゲット・導入機能
- ③ 本事業への関心・参画可能性
- ④ 事業スキームについて

■施設の基本的な考え方

＜施設整備候補地＞

温泉源を有する土地のうち、立地条件や整備実現性等の観点で比較検討し、次頁に示す2か所の敷地を抽出しました。

＜施設の基本的な考え方＞

斜里町民と斜里町への来訪者のために平常時と非常時の区別なく機能する 温泉資源を活用したフェーズフリー型滞在・交流拠点

＜整備方針（案）＞

1

町民や観光客への 温浴ニーズへの対応

- 多様な健康増進サービス（サウナ、ジム等）の導入を検討します。
- 知床を来訪する観光客を誘導し、斜里市街地・ウトロ地区を含めた域内消費の創出を図ります。

整備イメージ：いなべ阿下喜ベース（三重県いなべ市）



2

温浴施設と親和性の高い サービスの提供

- 健康増進・交流機能を有する公共施設の集約・複合化を検討します。
- その他、本施設の魅力向上や課題解決に資する機能の導入を検討します。

整備イメージ：小清水町防災拠点複合庁舎「ワタシノ」

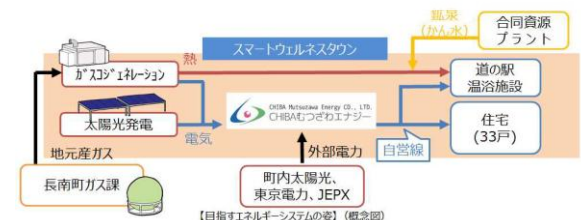


3

地域エネルギー活用型 防災・避難施設の確保

- 温泉熱を活用し、積雪寒冷期等の孤立リスク低減や災害時の避難者受け入れが可能な施設とします。
- 特に施設の運営には、平常時と非常時をシームレスにつなぐ「フェーズフリー」の考え方を導入し、日常の賑わいを生む運営が地域の強靱化に直結する仕組みを検討します。

参考事例：道の駅むつざわ（千葉県睦沢町）



■ 調査対象地

1. B&G海洋センター周辺

2. 国道沿道

住所

斜里郡斜里町朝日町

斜里郡斜里町字豊倉

敷地面積

約10,700m²

約9,800m²

土地所有者

斜里町

民間事業者

土地利用
規制

第2種住居地域
容積率：200% 建ぺい率：60%

用途地域の指定のない区域
容積率：100% 建ぺい率：60%

現況
土地利用

現況更地。隣接して斜里町B&G海洋センター、体育館、プール、武道館が立地。

現況更地。隣接してスーパーマーケットやドラッグストア、ホームセンター等の商業施設が立地。

上下水道

既設管まで約100m（下水道認可区域内）

既設管まで約250m（下水道認可区域外）

雨水

東1号排水路

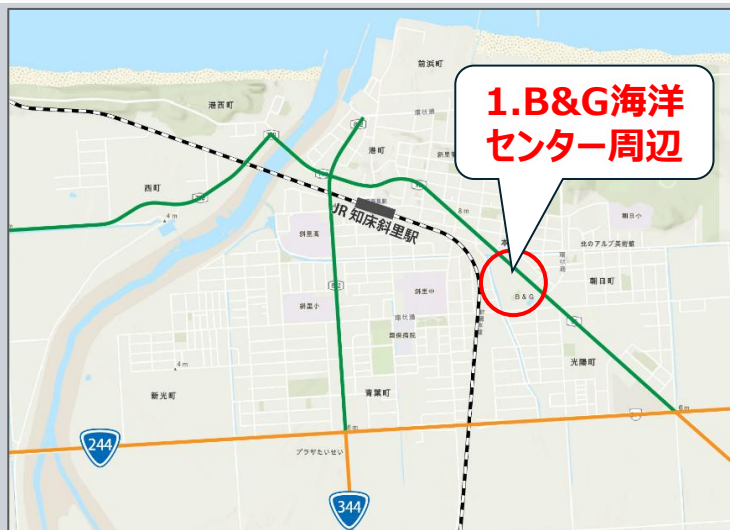
国道244号～東1線排水路

泉源

泉温：42.2℃ 湧出量：268 l/min

泉温：50.3℃ 湧出量：290 l/min

位置



■ 温浴施設の整備概要

■ 導入機能・規模等

- 延床面積は1,500㎡～2,000㎡程度と想定します。
- 導入機能は温浴機能を核とし、親和性の高い機能の導入を図ります。
- 「フェーズフリー」の考え方を取り入れ、平常時、非常時のいずれの場合でも快適に利用できる施設とします。



温浴・サウナ



飲食・カフェ



ガーデン・RVパーク



交流・コミュニティ



健康増進



プール

※各候補地におけるモデルプランは、守秘義務対象資料として、参加申込書を提出した方のみ提示します。

■ 想定事業スケジュール

- 今年度、本調査により民間事業者との意見交換を行い、温浴施設整備にかかる官民連携の可能性を調査します。
- 今年度の調査結果を踏まえ、令和9年度以降に事業者の公募・温浴施設の基本計画の策定等を進める予定です。

年度	検討事項
R6	複合施設に関する町民アンケート調査実施
R7	複合施設に関する基本構想策定 (町民ワークショップ、事業者意見交換会の実施)
R8	複合施設整備に係る官民連携の実現可能性の検討
R9～10	基本計画策定・PFI等導入可能性調査
R10～11	公募準備・事業者選定・契約締結
R12～14	基本設計・実施設計・工事
R15	複合施設の開業